

明治大学 vs 流通経済大学

9月16日(月・祝)
13:50K.O.
たつこのこ

総理大臣杯で準優勝を果たした明大。ここ数年は後期リーグに強さを発揮してただけに注目の一校だが、10節の日体大戦は0-0の引き分け、前節の専大戦も1-4の敗戦と波に乗りきれない。

「実力どおりの結果だった。いいところはない。すべてが悪い」（神川明彦監督）

ミスが多くパスが繋がらず、自分たちでゲームを作ることができなかった。

また、後半はチャンスを作り1点を奪ったものの、そのほかのチャンスを決めきれないのも痛かった。

「自分たちのストロングポイントと並行して専大から学んだことを見習い、チームとしてレベルを上げていくしかない」（神川監督）

折り返しを迎えたここから、巻き返しとなるか!?

総理大臣杯で優勝した流経大。後半戦初戦は東洋大を1-0で破ったが、前節の国士大戦は1-1のドローに終わった。

「正直、勝点1しか取れないゲーム内容だった」（中野雄二監督）

10節の東洋大戦も辛勝。総理大臣杯後、好調をキープしているかという答えはノーのうえに、試合前日に

ケガ人も出てしまい厳しい状況に追い込まれた。「中盤のプレッシングがルーズになった」（中野監督）積極的な守備でボールを奪っていくことを掲げているが、それが十分にできなかったのが引き分けに終わった原因だ。

「積極的にやらせたい」（中野監督）
どちらが上位チームへの挑戦権を持つのか。両チームともに重要な一戦だ。

警告3回：山越康平（明大）

前回の対戦：明大0-0（シュート数8-6）流経大

明大				流経大			
5. 小川	27. 石原	7. 中山	28. 藤原	4. 小出	8. 和泉	27. 藤山	5. 川崎
	16. 差波		6. 富田	1. 三浦			1. 八巻
	32. 及川		24. 吉村	3. 山越	28. 矢島	18. 田上	15. 真辺
12. 室屋	7. 梅内	23. 森保	2. 湯澤				

桐蔭横浜大学 vs 慶應義塾大学

9月16日(月・祝)
13:50K.O.
古河

再開初戦は順大に大逆転勝利を収めた桐蔭大。これで3位まで順位を上げたが、前節は最下位の東洋大に1-2の敗戦を喫してしまった。

「ボールを失う回数が多かったので、いいゲームにならなかった」（八城修監督）

ミスが多く、自らゲームを壊してしまった格好。後半はやや持ち直し、40分には1点差に詰め寄るゴールを奪ったが、

「最後まであきらめない粘りはよかった。ただ、ボールを大事にする、取ったボールを失わないということをしつかりとやっていきたい」（八城監督）

というように、相手の積極的なプレスの前にうまくボールをつなげなかった。

「連敗するとチーム状態も悪くなる。危機感を持って、ぜひ勝ちたい」（八城監督）

夏場に徹底的に走り込み、守備に時間を費やしてきた慶大。それなりに手応えもあったが、前節の順大戦はまさかの6失点。2-6の大敗を喫してしまった。

しかも、前半25分の時点で2点をリードしているがらの敗戦。

「今までやってきたことができなかった。そこが一番の

問題。ディフェンスのところあまりにもあいまいで、誰が誰をマークするのかという部分をまったく修正できないまま後半に入り、なおかつミスが出たところが敗因だと思う」（須田芳正監督）

残留争いの厳しい状況下にいるが、まだ後半戦は始まったばかり。

「桐蔭大戦までに、自分のマークという点に意識をおいて修正したい」（須田監督）

警告3回：松下純土、溝渕雄志（以上慶大）

前回の対戦：桐蔭大2-1（シュート数9-9）慶大

桐蔭大				慶大			
2. 井上	11. 山根	19. 溝渕	3. 飯高	4. 古澤	7. 平山	10. 武藤	22. 久保
			8. 松下	1. 島崎	6. 福島	20. 今関	12. 福本
	9. 大泉		32. 小坂	3. 香西		20. 端山	4. 保田
33. 田内	8. 山崎	24. 山田	23. 豊川				

※布陣は前節のメンバーを参考にした予想

JR東日本カップ 2013 第87回 関東大学サッカーリーグ戦

OFFICIAL MATCHDAY PROGRAM

VOL.25-NO.12 Division1



編集：加茂郁実 発行：関東大学サッカー連盟 協力：関東大学サッカーサポーターズクラブ

専大が2位・早大に5ポイント差をつけて折り返す!

11節でちょうど半分を消化した「JR東日本カップ2013 第87回関東大学サッカーリーグ戦」（筑波大と慶大は1試合未消化）。今年も相変わらずの強さを発揮している専大が、3年連続で首位ターンを果たした。総理大臣杯準優勝の明大と対戦した専大だが、30分に先制点を奪うと後半30分までに4得点。試合終了直前に失点してしまったのは反省点だが、4-1でキッチリ勝利を収めた。明大は再開後、1分1敗と調子が上がってこない。前節、専大に敗れた早大は中大と対戦。前半41分に早大が先制点を奪い、42分には中央が同点に追いつく緊迫したゲームだったが、試合を優位に進めた早大が後半38分に勝ち越しゴールを奪い2-1で勝利を収めた。中大は後半戦2連敗スタート。

日体大と筑波大の一戦は点の取り合いに。後半31分に日体大が追いついて2-2となったが、その後、34分に筑波大が勝ち越しゴールを奪い後半戦スタートを白星で飾った。日体大は1分1敗とやや元気がない。

総理大臣杯優勝の流経大と残留争いに必死の国士大の一戦は、両者互角の戦い。前半11分に流経大が先制点を奪ったが、23分には国士大が同点弾。その後、互いに決めきれずに1-1のドローに終わった。

得点ランキング

仲川 輝人 (専大)	11点
長澤 和輝 (専大)	8点
坪井 秀斗 (桐蔭大)	6点

アシストラランキング

仲川 輝人 (専大)	4アシスト
稲葉 圭吾 (専大)	3アシスト
北爪 健吾 (専大)	3アシスト
長澤 和輝 (専大)	3アシスト
榎本 大希 (早大)	3アシスト

前節で3位まで順位を上げた桐蔭大だが、この日は後半23分までに2ゴールを奪われる苦しい展開。後半40分に1点差に詰め寄ったが、降格を避けた東洋大が最後まで守りきり2-1で桐蔭大を振りきった。

慶大と順大の一戦は、後半戦初戦となった慶大が前半25分に先制点を奪ったが、その後、順大が6ゴールを決めて一気に逆転。6-2で順大が後半戦初勝利を飾った。

残り11試合。ここからどういったドラマが繰り広げられるのか、目が離せない!

JR東日本カップ 2013 [第87回] 関東大学サッカーリーグ戦 星取表

第10節、慶大 vs 筑波大が延期のため暫定順位 日程未定

順位	チーム名	専大	早大	桐蔭大	日体大	中大	流経大	明大	順大	筑波大	国士大	慶大	東洋大	試合数	勝	分	負	得点	失点	得失差	勝点
1	専大		201 11月24日	602 11月9日	1Δ1 11月17日	502 11月2日	2●3 10月12日	401 10月6日	201 9月21日	201 10月27日	201 9月15日	601 10月19日	301 9月28日	11	9	1	1	35	15	20	28
2	早大	1●2 味フィ西		1Δ1 11月17日	1Δ1 10月6日	201 11月9日	300 9月22日	201 11月2日	0●1 10月20日	100 10月12日	201 9月28日	201 10月27日	100 9月16日	11	7	2	2	16	9	7	23
3	桐蔭大	2●6 江戸陸	1Δ1 たつこのこ		100 11月2日	1Δ1 9月21日	301 9月28日	2●3 11月23日	302 10月12日	0●1 10月6日	100 10月20日	201 9月16日	1●2 10月27日	11	5	2	4	17	18	-1	17
4	日体大	1Δ1 BMWス	1Δ1 駒補	0●1 ゼットエー		100 11月24日	200 11月10日	0Δ0 10月26日	1Δ1 9月16日	2●3 9月28日	100 9月21日	1●2 10月13日	301 10月19日	11	4	4	3	13	10	3	16
5	中大	2●5 駒陸	1●2 古河	1Δ1 BMWス	0●1 味フィ西		0Δ0 11月17日	301 10月19日	200 9月28日	200 9月15日	100 10月26日	100 10月5日	100 10月12日	11	4	3	4	14	13	1	15
6	流経大	302 流経大G	0●3 たつこのこ	1●3 柏の葉	002 たつこのこ	0Δ0 たつこのこ		0Δ0 9月16日	0Δ0 10月27日	1Δ1 10月19日	1Δ1 10月6日	301 11月23日	100 11月2日	10	3	5	3	10	13	-3	14
7	明大	1●4 駒補	1●2 江戸陸	302 味フィ西	0Δ0 川口	1●3 川口	0Δ0 たつこのこ		401 11月9日	0●1 11月16日	201 10月13日	201 9月28日	0●1 9月21日	11	3	4	4	14	16	-2	13
8	順大	1●2 BMWス	100 千葉東総	2●3 流経大G	1Δ1 ゼットエー	002 柏の葉	0Δ0 味フィ西	1●4 江戸陸		1●3 11月23日	500 11月16日	602 10月5日	2Δ2 10月5日	11	3	3	5	20	19	1	12
9	筑波大	1●2 BMWス	0●1 ひたちなか	100 たつこのこ	302 古河	002 たつこのこ	1Δ1 古河	0Δ0 たつこのこ	301 たつこのこ	0●5 0●5	1●2 11月2日	未定 9月22日	5Δ5 11月9日	10	3	3	4	15	16	-1	12
10	国士大	1●2 日立	1●2 早大G	0●1 千葉東総	0●1 味フィ西	1Δ1 駒二	100 たつこのこ	1●2 足利	201 古河	201 フクアリ	201 11月9日	201 11月23日	201 11月23日	11	3	1	7	12	20	-8	10
11	慶大	106 古河	102 味フィ西	102 古河	201 足利	001 古河	103 たつこのこ	2Δ2 早大G	206 フクアリ	未定 たつこのこ	302 保土ヶ谷		201 11月17日	10	3	1	6	15	26	-11	10
12	東洋大	103 古河	001 ゼットエー	201 BMWス	103 川口	1Δ1 ひたちなか	001 江戸陸	100 味フィ西	2Δ2 古河	5Δ5 たつこのこ	102 たつこのこ	102 三ツ沢		11	2	3	6	15	21	-6	9

体育会学生のための
リクナビ就職エージェント

ただ、自分に勝ちたい。

部活と就活にエールを送る! 体育会学生のための「リクナビ就職エージェント」
http://job.rikunabi.com/agent/athlete/info02/

中央大学 vs 筑波大学

9月15日(日)
13:50K.O.
たつこの

リーグ戦再開後、2連敗となってしまった中大。苦しい戦いが続いている。

開幕戦となった国士大戦は、どちらかという自分たちが試合を優位に進めながらも決めきれず、土壇場のアディショナルタイムで失点してしまい勝点を失ってしまった。逆に、前節の早大戦は試合内容も相手のペース。それでも早大に先制されながら直後に追いつき粘りを見せたが、後半は圧倒的に早大に攻め込まれて防戦一方だった。

「結果が試合内容を物語っている。もっとハートを出して戦わないと勝てないというゲーム」(白須真介監督)

国士大戦で試合終了間際に逆転されてしまった精神的な影響が、少なからず出てしまった。

「筑波大戦は気持ちを出せるかどうか。時間が短いのでどこまでできるか分からないが、やっていることは間違いないので、それが出せるかどうか」(白須監督)

前節の日体大戦は3-2で勝利を収めた筑波大だが、決して内容には満足していない。

「前半はサイドでクロスを上げて完全に崩しきれず、ボールを奪われるといった展開だった。支配しているようで、チャンスを作れていなかった」(中山雅雄監督)

というように前半12分に失点し、前半は流れ自体もよくなかった。それでも前半戦では同じような展開になった場合、負け試合となるケースが多かったが、今回は後半にしっかりと立て直し、1失点したものの3ゴールで日体大を下しただけに、今後につながる勝点3だ。

前節での赤崎秀平(4年)の負傷具合が気になるが、「後半戦は一つも負けなつもりでやっている。一つひとつ、しっかりとやっていきたい」(中山監督)
警告3回：細見諒(中大)、谷口彰悟(筑波大)
前回の対戦：中大2-0(シュート数20-10)筑波大

中大		筑波大	
2. 古賀	10. 澤田	11. 中野	18. 早川
24. 岡崎		19. 若杉	17. 西村
4. 細見		7. 葦本	
1. シュミット	25. 渋谷	19. 皆川	1. 神倉
	23. 秋元		3. 谷口
3. 大和田		9. 赤崎	5. 車屋
6. 高瀬	7. 砂川	13. 曾山	12. 三丸

日本体育大学 vs 順天堂大学

9月16日(月・祝)
11:30K.O.
ゼットエー

再開後は1分1敗と結果が出ていない日体大。「ボールを持たれる覚悟はしていた。前半はいい形で点を取れたが、その後、受け身になったしまった」(倉又寿雄監督)

後半に入り、選手交代を交えながらゲームを支配していったが、

「自分たちが攻撃する時間は増えたが、ボールを失ったときの切り替えが遅くなって、速攻を受けてしまった部分もある」(倉又監督)

前半戦では9試合で7失点とリーグ最少失点だった守備陣だけに、3失点はショックともいえる。

「後半、いくところ、いかないところをハッキリさせて守備するように指示したが、疲れてくるとどうしても飛び込んだりしてしまう。1試合で3失点するのは私としても残念。メンバーも含めて、しっかりと修正したい」(倉又監督)

教育実習の関係で思うようにメンバーを組めない事情もあるが、ここが踏ん張りどころだ。

再開初戦で逆転負けを喫してしまった順大。その影響が心配されたが、前節は慶大に6-2の大勝を飾った。「自分たちが主導権を握ることができると勝てる可能性

は増えてくる」(吉村雅文監督)

前半25分までに2点をリードされる厳しい戦いだったが、27分に1点差に詰め寄ることができたのが大きかった。一方で、

「主導権を握れないときに、どうリズムを取り戻すのか。連勝しないと順位は上がらないし、順位が上がらないと慌ててしまう。日体大戦は失点しないというチームコンセプトを見直したうえで連勝したい」(吉村監督)
警告3回：宮内啓汰(日体大)、宮本和輝(順大)
前回の対戦：日体大1-1(シュート数7-2)順大

日体大		順大	
19. 高野遼	8. 中田	10. 井村	16. 吉永
29. 高野次	14. 長谷川		3. 清水
	17. 小城		6. 岡崎
1. 畠中		11. 原田	8. 天野
	10. 稲垣		15. 青木
38. 中嶋	11. 北脇		5. 新井
24. 横野	7. 梅村	7. 和田	13. 宮本

専修大学 vs 国士舘大学

9月15日(日)
13:50K.O.
日立

前節で明大と対戦した専大。4-1の快勝を飾り、首位でリーグ戦の半分を折り返した。

「勝ててよかった。みんなが頑張っていた。長澤(和輝・4年)がいないときにこの勝利は大きい」

キャプテンの長澤が教育実習のため不在だった2試合だが、ともに勝利で終えたのは大きい。また、

「前半戦は試合の前半で調子が悪いケースが多かったが、再開後は立ち上がりから集中できているので、これを続けていきたい」(源平貴久監督)

一方で、そのよさが90分続かないという反省点も。「前半に頑張りすぎて、後半の最後、中身がない感じになってしまった。そこは上げていきたい」(源平監督)

中3日での戦いだが、ここを勝ちきれようかがポイントだ。

「勝点3を取りたかった試合だった」

と、非常に厳しい表情を浮かべたのは国士大・細田三二監督。

ただ、10節では中大をアディショナルタイムに破り、前節の流経大戦も先制点を奪われながら同点に追いつき1-1で終了。なかなか接戦をモノにできなかった前半戦に比べれば、確実に粘り強さは出ている。

「1失点してしまったが、最後の最後で相手が飛び込んできたときに阻止できたことはよかった。失点を1で抑えることができたのは評価できる」(細田監督)

とはいえ残留争いはかなり拮抗しているだけに、ここから厳しい気持ちで臨まなければいけない。

今節は首位・専大との対戦。「順位は離れているが、90分の戦いの中ではあまり変わらないと思う。きちんと自分たちのやるべきことをやるだけだ」(細田監督)

前回の対戦：専大2-1(シュート数14-8)国士大

専大		国士大	
12. 小口	18. 東	14. 進藤	2. 石川
6. 河津		16. 平松	5. 中井
	8. 下田		7. 橋本
1. 福島	7. 長澤	11. 前澤	1. 小澤
	14. 星野		33. 池ヶ谷
3. 萩間		10. 新村	4. 今瀬
2. 北爪	10. 仲川	26. 佐々木	22. 藤畷

早稲田大学 vs 東洋大学

9月16日(月・祝)
13:50K.O.
ゼットエー

後半戦初戦で首位を走る専大との直接対決で敗れてしまった早大だが、前節は中大を2-1で下した。

「一進一退の攻防だったけれど、その中で粘り強く相手にプレッシャーをかけてボールを奪い、早い攻撃でチャンスを作り出したことはよかった」(古賀聡監督)

決して順調な試合運びではなかったが、早大らしさは十分に出すことができたといえる。

「前半途中、プレッシャーがかからないような状況があったが、自分たちで修正したのも大きい。後半、しっかりとプレッシャーをかけてゴールを奪うことができた」(古賀監督)

選手たちの中に考えて対応する力が植えつけられただけに、今後も自信をもって専大を追いかけたい。

「優勝するには勝点3しかない。専大にくらいつていくためにもいい準備をし、勝点3をとりたい」(古賀監督)

最下位と苦しい戦いが続いている東洋大だが、前節は桐蔭大とのゲームを2-1でモノにし、2勝目を挙げた。「結果がなかなか出ていなかったのも、まずは勝点3が取れたのが大きかった。チャレンジャーとして泥臭く、勝点を一つずつでも重ねていこうと選手に伝えた。本当に選手が90分間、泥臭く体を張って防いだり頑張って

くれた」(古川毅監督)

前線から積極的にプレッシャーをかけて、相手に自由にプレーさせなかったのが大きかった。一方で相手がシュートを決めきれず助かった部分もあっただけに、守備の部分では修正も必要だろう。

攻撃面では後半、ポゼッション率が高かっただけに、こういった時間帯を増やしていけば、まだまだ挽回するチャンスは十分にある。

警告3回：藤井悠太、馬渡和彰(以上東洋大)
前回の対戦：早大1-0(シュート数6-3)東洋大

早大		東洋大	
6. 三竿	24. 竹谷	11. 黒須	7. 馬渡
3. 金沢	10. 榎本	18. 小山	5. 藤井
	5. 池西		10. 桑田
1. 松澤			1. 浅沼
	4. 中田		6. 石川
2. 奥山	25. 宮本	9. 三田	16. 筑井
12. 八角	18. 小松	15. 斉藤	14. 平石